

（令和6年度 日本ビクター・JVC ケンウッド退職者の会）

JVCKW シニアクラブ  
（文責・総会書記：西郷 治男）

■日時：2023.10.24(火) 12:00～13:00

■場所：横浜西口「グレースバリ・横浜ハマボール・イアス店」7階（横浜市西区北幸2-2-1）

## 1. 開会 [12:00]

◆司会の宮本副会長より挨拶。

・この時期(10月)にこの場所(横浜)での総会開催は3年ぶり、前回(3年前2020年10月)は前菅沼会長が車イスで出席したが、今回は奥様からストップされたとのこと。

・続いて、議案書2ページ記載(下記)の物故者4名が紹介され、黙祷が行われた。

(敬称略) <東京支部> 深野岩雄(R4.12.29、88才) <千葉支部> 原 充(R5.6.10、76才)

<東京支部> 廣川洋平(R5.7.18、85才) <千葉支部> 岩田芳秀(R5.7.10、89才)

◆次に、議長選出の事務局案(浅見憲一氏)が提案され、承認された。

## 2. 総会役員選出 [12:05]

◆議長の浅見氏が登壇して挨拶の後、書記に西郷が任命された。 <参加者:43名>(来賓含む)

## 3. 会長挨拶 [12:06]

◆高石会長より挨拶。

・私は2019年10月、第18回総会で菅沼さんから会長を引き継いだ。その後、コロナ禍で2020年、2021年と書面総会が続いたが、2022年度は総会を2月11日に設定し、東京で開催した。2023年の今回は、4年ぶりにここ(横浜ハマボール・イアス店)に戻ってきた。

・世界では、イスラエルとパレスチナ、ウクライナとロシアの戦争が続いているが、太平洋戦争が始まった翌年に生まれた私は戦争の悲惨さを体験しており、テレビで紛争場面を見るたび震えが来る。しかし国連は無力で何ともならず、今こそ各国が協力して世界平和を何としても考えてもらいたい。

・日本では今、物価高騰が続いており様々な物が値上がりしている。社会的にも格差が拡大しているため、我々年金生活者は大変であるが、マクロ経済ビジョンから年金受給額は上がりそうもない。

・また少子化対策、高齢化対策も花火は上がるが具体策は示されず、来年は法制化へとやっているが効果的な実行には移されそうもない。

・そんな中で今年の賃上げは3%を上回った。残念ながら実質賃金は下回ったが、来年は組合も経営者もぜひ頑張ってもらい、年金生活者もそれに関連して年金額のアップを期待したい。

・一方、現在のシニアクラブの大きな問題は高齢化により年々会員が減少していることである。今日は43名の会員が集まり、86才以上の2名(佐藤滋樹さん、船坂栄一さん)も参加いただいた。

・最後に、会員の皆様のご健勝を祈念すると共に、今後の諸活動にご協力をよろしくお願ひしたい。

## 4. 来賓挨拶 [12:15]

◆JVCケンウッド労組・上村副委員長より挨拶。

・本日の第22回総会開催をお祝い申し上げますと共に、皆様の日頃の活動に対して敬意を表する。

・まず会社の経営について、夏以降の株価は600円台をキープしているが、各部門の業績が良いというより無線事業の好調が売上げ、利益の7割を占めている。JVCケンウッド統合以降、売上げは伸びたが利益が厳しく、メディア事業はヘッドホン、プロジェクター等で前年をクリアーしている状況。

・次にJVCケンウッド労組については、昨年10月に2つの上部団体(電機労連、JAM)をJAMに一本化した。その後、電機労連共済制度の脱退手続きや今後の取り扱いなどを慎重に進めており、それらをしっかりやり遂げた後、来年には電機労連から脱退の予定。

・今後もJVCケンウッド労組へのご支援と共に、JVCKWシニアクラブの益々の発展を祈念する。

## 5. 報告 [12:20]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で報告。

### (1)令和5年度 活動報告

<議案書 1～2 ページ参照>

- ・前回の総会はコロナ第8波が下がってきた2月に開催し、その後はピークもあったが9月以降は下降となり、10月頃からはマスクなしの外出も増えてきた。そうした中での今回の総会開催となった。
- ・この一年間の活動はシニアクラブ便りやオンラインミーティング報告で都度報告し、総会案内と共に活動記録写真集も送付しているため、以下の報告はスクリーン主体で、ポイントのみ説明する。

#### 1)この1年の活動を振り返って

##### ①今年2月に時期をずらし、3年ぶりに対面で令和5年度総会開催（港区芝、友愛会館）

参加者40名、総会後の国立演芸場の観劇、日比谷での懇親会等で久しぶりに交流を深めた。

##### ②2月の総会参加者数に比べ、その後のイベント活動は参加者減少

総会参加者は40名だったが、その後の活動は参加者減少が残念。そんな中で7月、シャワー全開ライブで会場全体の動員多数は主催の幹事・大高さんの地域活動として絶大な成果である。

##### ③オンライン会合は毎月開催、新たに多数の参加で活発化を！

コロナ禍での情報交換でスタートした会合は毎月定例開催しているが、最近では参加者の減少でメンバー固定化が課題。フリーな意見交換の場として、多数の皆さんの参加をお願いしたい。

##### ④上部団体の地方JAM活動にも参画、更なる積極参加を期待

各地方JAMの役員となってリード役を担い、行事・集会にも多くの参加で地域交流を図ろう。

#### 2)会員情報

##### ①R5.8.1 現在 <会員数> 183名（1年間で退会・死亡6名、2名加入で、昨年度から4名減）

・<平均年齢> 78.8才（データ174名）、75才以上後期高齢者が全体の8割を占める。

<年齢構成> 60歳台9名、86才以上(終身会員)15名。

<会員数推移> 平成26年度245名をピークに減少中。

・15年前は平均年齢60歳台で「一人が一人を誘えば組織は倍増」の入会勧誘により会員数が年々増大した。後期高齢者が大半の現在、毎年会員減少が続いており、今後は組織拡大に向けた取り組みが重要である。改めて、シニアクラブの意義を伝え、理解を求める活動が必要となる。

##### ②R5.8.1 現在 <地区別会員数(前年比)> 神奈川87(-1)、東京・埼玉27(-1)、千葉26(-1)、茨城35(±0)、群馬・他8(-1)

※R5.10月現在 <会員数> 179名（神奈川85、東京・埼玉27、千葉25、茨城34、群馬・他8）

### (2)令和5年度 会計収支決算報告

<議案書 2～3 ページ参照>

・<収入> 会費(振込、現金)＋活動助成費(労組本部より)＋前年繰越金で147.4万円。

会費は退会による会員数減少のため僅かな減収となり、予算対比98.2%。

・<支出> 支出小計96.1万円(計画比77.3%)。主な支出～行事費は総会28.4万円、幹事会13.3万円。活動費は本部・支部行事補助4.8万円、情宣費は18.4万円など。

・<支出補足> 総会は終了後、移動して観劇、懇親会の設定により、従来より多めの支出対応。幹事会は5回の内2回はオンライン実施で交通費削減。本部・支部行事費補助はコロナ禍からの回復は見られたものの、行事参加者減少などから予算対比24%。情宣費は活動報告カラー印刷、HP維持管理費など若干オーバーして予算対比105.1%。

・<繰越金> 昨年より約10万円支出が増えたため、繰越金は51.3万円の前年比約10万円減。

### (3)令和5年度 会計監査報告

<議案書 3 ページ参照>

・会計監査・飯田氏より「7/31現在の財務諸表を厳正に審査した結果、会計処理はすべて適正であることを確認した」と報告された。 ～ (1)(2)(3)一括し、拍手で承認。

※監査日(令和5年9月7日)、会計監査・飯田耕治郎氏、白岩仙一氏が立ち合い実施。

## 6. 議案 [12:40]

◆田代事務局長より 第1号、第2号議案を提案。引き続き、第3号議案を追加提案。

(1)【第1号議案】令和6年度 活動方針に関する件

<議案書4~7ページ参照>

1) 私達を取り巻く情勢

①今年の夏は猛暑日の連続、世界各地で高温や大雨による被害多発

・地球沸騰と表現される程、世界中が猛暑に襲われ各地で山火事、洪水、ダム決壊等の被害多発。

②終わりが見えぬロシアのウクライナ侵攻、国連の無力からルール・マナーなき世界

・新たにハマス、イスラエル紛争勃発で国連の無力化が露呈。力づくのルール・マナーなき事態に。

③生成AIの発達で世界にフェイク情報が錯乱、利用のルールの大切さ

・生成AIが悪用されたフェイク情報が溢れ、信頼できるAI利用ルール作りと正しい判断力で対処。

④平和の象徴であるスポーツは正しいルールと共に、競技・演技マナーや観客マナーを

・選手自身や観客にもルール、マナーが必要であり、他人を思う心の欠如からトラブルに発展も。

⑤野球のWBC優勝からスポーツ界の夢と希望へと発展、人を思いやる心と協力し合う大切さ

・大谷選手の人柄やマナーは日本人の誇り。身の回りでも思いやりの心とお互い協力して行動を。

2) 活動の基調

①何が真実か見抜く力を備えよう

・オレオレ詐欺の被害者は一人で判断して行動してしまうことが典型パターン。普段から家族や友人と話したり、TVや新聞等から世の中の状況を知ること、つまり日頃から多くの人との交流が大切。

②いつまでも動ける身体を維持しよう

・“サルコペニア”とは筋肉が減少するという意味。加齢と共に、体を支える筋肉が減少し運動量や食欲・栄養低下から立ち上がりや歩行に支障をきたし、遂に家で“居た切り老人”となってしまう。

③シニアクラブ活動に参加しよう

・シニアクラブでは相互交流のイベントや会合等を開催。今年も8月の浅草ジャズ、11月のゴルフコンペ、円覚寺座禅などに加え、新たに12月に男の料理教室予定。オンライン会議も毎月開催中。

④組織拡大への取り組み

・高齢化と共に会員減少はやむを得ないが、60歳代会員も9名在籍し、ヤングシニア世代が参加しやすい企画立案に向けた当該会員の意見収集、今後の新規加入アプローチも積極的に推進。

⑤上部組織との連携

・JAM本部や地方JAMでは役員を担うなど上部組織との連携により、例えばマイナンバーカード保険証移行時期見直しなど社会活動への参画、各種選挙の候補者支援など積極的に取り組み中。

～2025年参議院選挙 JAM推薦候補「郡山りょう」氏

(2)【第2号議案】令和6年度 会計収支予算に関する件

<議案書8ページ参照>

・<収入> 会員(終身会員を除く165名)による会費、労組活動助成費、繰越金で、収入合計134.3万円。

・<支出> 幹事会(対面主体5回)で交通費増、本部活動費は組織強化等の交流強化で増額、本部・支部行事は実績に即して減額、情宣費はズーム契約の解除(時間制限の無料方式)などで、支出小計113.8万円。

・<予備費(残額)> 支出残(繰越金)は前年を下回る20.5万円(前年51.3万円)。

・会費振込手数料の本部負担軽減のため、できる人は郵貯口座オンライン活用(本部負担0)をお願いしたい。

～(1)(2)一括し、挙手で全員承認を確認。

◆引き続き、田代事務局長より第3号議案を追加提案。

(3)【第3号議案】令和6年度 一部役員選任の件

<議案書9ページ参照>

・役員任期は2年で今年度は中間期であるが、令和6年度は新たに副会長を選任し、現行の副会長1名に加え、副会長は2名とする。これにより令和6年度の役員体制は11名とする。

《新副会長》 飯田耕次郎 (現会計監査担当)

<選任理由> 昨年度から上部団体・JAM神奈川シニアクラブ会長を担っており、

組織間の連携を一段と強化させるため。

・尚、会計監査後任は君塚範男氏が就任。(1978年水戸工場入社、63歳、労組委員長など歴任)

#### 《令和6年度役員体制》

＜会長＞ 高石勝巳　＜副会長＞ 宮本 信、飯田耕次郎　＜事務局長＞ 田代 周

＜幹事＞ 井上純一、榎本享二、大高光蔵、菊池正範、宮田宏美

＜会計監査＞ 白岩仙一、君塚範男　以上11名。

～ (3)は拍手で承認。

#### 7. 議長降壇、書記解任 [12:04]

#### 8. 閉会 副会長挨拶 [12:06]

◆新たに選任された飯田副会長より挨拶。

・「ただ今、承認いただきました飯田です。皆様のご協力をいただきながら、シニアクラブ発展のために全力を尽くして頑張ります」と挨拶の後、「これをもって今総会を閉会する」と告げられた。

◆総会閉会の後、参加者全員で記念撮影が行われた。

#### ＜総会后＞

■総会参加者交流懇親会 [13:15～15:10]

以上